



平成30年 9月 1日

第 147 号

◇ 平成29年度標茶町社会福祉協議会事業報告 ◇

近年の福祉を取り巻く環境は、介護保険法、障害者総合支援法、子ども・子育て支援新制度など、各制度の成熟化が進む一方で、人口減少、家族・地域社会の変容などにより、既存の縦割りのシステムには課題が生じているのが実態であります。地域においては、さらなる人口減少や少子高齢化が進行し、支援を必要とする人々、支援の手が届かない人々が顕在化しています。又、経済情勢や雇用環境の変化、地域社会や家族形態の変容などを背景に、あらゆる世代にわたって引きこもり・孤立死等の社会的孤立や生活困窮・低所得、虐待・悪徳商法等といった地域における生活課題は、私達協会有很多の志を持つ地域の関係者と共にネットワークを創りながら、細やかに対応すべき地域の継続課題として未だに残されています。

このような状況を受け、これまでの福祉制度や法の枠組みでは対応することが難しい制度の狭間への取り組みや災害時の活動も含め、社会福祉協議会の取り組むべき情勢は大きく変化し、課題は増えてきています。

本年度は、第5期地域福祉実践計画の最終年次計画を迎えたことから、これまで実践してきた成果を検証し、継続性を持った新たな第6期地域福祉実践計画を策定しました。

地域福祉の中核組織を担う本会は、地域住民、行政、福祉施設や福祉団体、ボランティア、民生児童委員、NPO法人など様々な関係機関と連携・協働しながら、第5期地域福祉実践計画の基本目標である「ともに支え合う、安心・安全・福祉のまちづくり」という活動理念の実現を目指す組織としてのネットワークを生かした地域福祉活動を推進し、住民に信頼・理解される社会福祉協議会づくりに努めて参りました。

以下、4つの事業実施方針に基づく取り組み結果及び事業評価について報告致します。

1. 基盤強化について

組織運営については、各種福祉施策は、地域福祉や社会活動のあり方に大きく影響を及ぼすものであり、それらに対応できるよう3部会（総務部会・厚生部会・地域改善ボランティア部会）、正副会長会議、理事会・評議員会を開催し、役職員一体となった組織運営を行いました。又、財政については補助金・委託料の趣旨を踏まえた効果的な業務執行に努めました。

2. 住民参加、協働による福祉について

「誰もが暮らしやすい地域づくりの推進」をするため、各種制度・施策の動向や地域の取り組みなど、継続した事業展開から課題（ニーズ）を把握し、関係機関と共有しながら、地域住民に密着した事業推進を図りました。

ボランティア活動内容については、ボランティア実践者の高齢化など課題はあるものの、給食宅配サービス事業など既存サービスの広がりをみせているところです。

愛情銀行に預けられた金品についても、大変厳しい経済状況の中、ご協力をいただきました。

広報誌「ふれあい」とボランティアセンター情報誌「自遊時間」については、社会福祉協議会の事業実施状況なども含め計画どおり発行いたしました。

又、ホームページを開発し、より身近な広報活動を図りました。引き続きタイムリーな情報提供に努めて参ります。

社協史の編纂については、理事会で設置した「編纂特別委員会」を開催し、年次的な編纂作業計画を立てながら具体的に推進いたします。

3. 福祉課題の把握と先駆的な事業の開発について

地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みを目指し、制度内の福祉サービスでは対応しにくい新たな福祉課題・生活課題を把握し、多様な事業展開に努めて参りました。

「ほ〜とサロン」事業については、安否確認も目的の一つでもある給食宅配サービス、布団乾燥サービスの利用者と、ボランティアの交流を目的とし、多くのボランティアのご協力をいただきながら実施しました。引き続き地域の福祉課題の把握に努めて参ります。

福祉金庫資金及び助け合い資金の貸付事業は、町民の応急的な生活資金として利用・活用されました。これら事業について今後も引き続き実施するとともに、福祉の専門知識を生かした、資金貸付だけでなくとどまらない、利用者の様々な背景に意を配すべく事業支援を図ります。

心配ごと相談所事業は、月曜日から金曜日まで（祝祭日を除く）の随時受付相談を、相談員の協力を賜り実施しました。

又、毎年実施している地域へ出向いての合同移動相談の開催と合わせて開催地（塘路）の民生児童委員との情報交換を行うなど、町民の心配ごとに対する相談窓口として関わりを図って参りました。今後も、町民の方が抱える悩みが解決できるよう事業を継続し、検討して参ります。

4. 地域に根ざした福祉サービスの支援体制について

地域の福祉サービスを検証し、利用者本位の福祉サービスの実現に向け、利用者の立場に立ったサービスと地域住民に密着した効果的な支援体制の確立に努めて参りました。

高齢者福祉での指定居宅介護支援事業所については、昨年7月から介護支援専門員の2名体制が整い、引き続き利用者の立場に立った支援とサービスの向上に努めるとともに、事業増収に努力いたします。

高齢や障がい等により判断能力が十分でない方の権利を守る成年後見制度等の利用支援を行う「標茶町安心サポートセンターまもる」については、相談申し立て支援、市民後見人養成等支援、日常生活自立支援事業、法人後見等を実施しました。引き続き各種機会を通じ事業周知に努めると共に、町民の権利が守られるよう各関係機関と連携を図りながら事業実施を図ります。

子育て支援活動としての、「標茶町子育てサポートセンターまーぶる」の取り組みについては、依頼会員と提供会員において事業実施を行いました。引き続き事業拡大のため事業周知に努めると共に、関係機関と連携を図りながら会員の新規会員登録の促進、会員研修等も行い、安心・安全な事業を推進して参ります。

平成29年度標茶町社会福祉協議会法人運営事業会計収支決算書

勘定科目	当初予算額	補正予算	最終予算額	決算額	差異
会費	727,000	213,000	940,000	939,300	700
個人会費収入	307,000	34,000	341,000	340,300	700
特別会費収入	400,000	100,000	500,000	500,000	0
賛助会費収入	20,000	79,000	99,000	99,000	0
寄付金収入	900,000	0	900,000	670,107	229,893
一般寄付金収入	700,000	0	700,000	351,460	348,540
経常経費寄付金収入	200,000	0	200,000	318,647	△ 118,647
経常経費補助金収入	44,032,000	△ 1,766,528	42,265,472	42,265,472	0
国庫補助金収入	0	0	0	0	0
都道府県補助金収入	0	0	0	0	0
市区町村補助金収入	44,032,000	△ 1,766,528	42,265,472	42,265,472	0
共同募金配分金収入	2,559,000	0	2,559,000	2,768,172	△ 209,172
一般募金配分金収入	1,759,000	0	1,759,000	1,758,534	466
歳末たすけあい配分金収入	800,000	0	800,000	1,009,638	△ 209,638
受託金収入	2,965,000	0	2,965,000	2,737,548	227,452
市区町村受託金収入	2,769,000	0	2,769,000	2,515,948	253,052
都道府県社協受託金収入	196,000	0	196,000	221,600	△ 25,600
貸付事業収入	200,000	0	200,000	238,275	△ 38,275
償還金収入	200,000	0	200,000	238,275	△ 38,275
事業収入	789,000	0	789,000	865,570	△ 76,570
利用料収入	789,000	0	789,000	865,570	△ 76,570
受取利息配当金収入	8,000	0	8,000	2,904	5,096
雑収入	390,000	474,000	864,000	329,882	534,118
事業活動収入計(1)	52,570,000	△ 1,079,528	51,490,472	50,817,230	673,242

勘定科目	当初予算額	補正予算	最終予算額	決算額	差異
人件費支出	35,736,000	9,000	35,745,000	35,575,107	169,893
事業費支出	6,350,000	△ 388,000	5,962,000	5,797,751	164,249
事務費支出	8,972,000	△ 640,000	8,332,000	7,370,975	961,025
貸付事業支出	200,000	0	200,000	200,000	0
共同募金配分金支出	1,831,000	0	1,831,000	1,988,180	△ 157,180
一般募金配分金事業	1,031,000	0	1,031,000	1,034,780	△ 3,780
歳末たすけあい配分事業	800,000	0	800,000	953,400	△ 153,400
助成金支出	690,000	△ 60,000	630,000	630,000	0
負担金	130,000	0	130,000	110,000	20,000
雑支出	0	0	0	189,069	△ 189,069
事業活動支出合計(2)	53,909,000	△ 1,079,000	52,830,000	51,861,082	968,918
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 1,339,000	△ 528	△ 1,339,528	△ 1,043,852	△ 295,676
福祉運用積立預金収入	0	0	0	0	0
固定資産取得支出	15,995,000	0	15,995,000	12,788,589	3,206,411
固定資産売却・廃棄支出	0	0	0	1,348,611	△ 1,348,611
ファイナンスリース料	461,000	0	461,000	370,980	90,020
施設整備等による収支差額(4)	△ 16,456,000	0	△ 16,456,000	△ 14,508,180	△ 1,947,820
人件費積立資産取崩収入	0	0	0	0	0
福祉運用積立資産取崩収入	18,468,000	0	18,468,000	2,849,478	15,618,522
コスモス積立資産取崩収入	0	0	0	4,039,882	△ 4,039,882
サービス区分間繰入金収入	0	0	0	2,329,066	△ 2,329,066
道民間共済退職金返還収入	0	0	0	0	0
その他の活動による収入(5)	18,468,000	0	18,468,000	9,218,426	9,249,574
退職給付引当資産支出	0	0	0	215,520	△ 215,520

ボランティア愛ランド北海道2018 in おたる並びに視察研修の参加者募集！

- 日時 平成30年10月21日(日)～23日(火) (2泊3日)
- 場所 小樽市民会館(小樽市花園5丁目3番1号)
- 参加費 実費(宿泊費・飲食費他)
※(大会参加費・懇親会費等の一部を助成します)
- 分科会 **分科会1** ボランティア活動で伝えたいこと～子どもたちとの学びを考える
「指定地域福祉教育懇談会の仕組みと成果・参加者との意見交換」
・小樽市内実践者(調整中)・福祉教育専門委員会
分科会2 人づくり・まちづくり・ボランティア・・・明日を拓く！
「泣いて、笑って、ズッコケテ・・・共に生きる！」
・藤井英樹さん(北海道まちづくりボランティア会議代表)
分科会3 もっと素敵にレクリエーション
・南部広司さん(ケアレクリエーション倶楽部代表)
※希望する分科会を第2希望まで申し込みください。
- 視察研修 22日(月) 当別町社会福祉協議会(ボランティアセンター他)
- 申込締切 9月14日(金)まで
- 募集定員 20名(お申し込み時に定員を超える場合、参加をお断りさせていただくことがあります。)
- 申込み・問い合わせ先 標茶町ボランティアセンター事務局(電話:485-2503)

勘定科目	当初予算額	補正予算	最終予算額	決算額	差異
人件費積立資産支出	0	0	0	95	△95
福祉運用積立資産支出	0	0	0	2,849,839	△2,849,839
コスモス積立金支出	0	0	0	4,040,088	△4,040,088
社協運営基金積立資産支出	0	0	0	3	△3
事業運営安定積立資産支出	0	0	0	4	△4
拠点区分間繰入金支出	0	0	0	0	0
サービス区分間繰入金支出	0	0	0	2,329,066	△2,329,066
道民共済退職預け金支出	673,000	0	673,000	431,040	241,960
自動車サイクル預け金支出	0	0	0	0	0
その他の活動による支出(6)	673,000	0	673,000	9,865,655	△9,192,655
その他活動資金収支差額による収支計(7)=(5)-(6)	17,795,000	0	17,795,000	△647,229	18,442,229
当期資金収支差額合計(8)=(3)+(4)+(7)	0	△528	△528	△16,199,261	16,198,733

前期末支払資金残額(9)	19,908,894
--------------	------------

当期末支払資金残額(10)=(8)+(9)	3,709,633
-----------------------	-----------

第56回北海道障がい者スポーツ大会の競技成績結果

7月22日(日)に、第56回北海道障がい者スポーツ大会が岩見沢市並びに美唄市において開催され、全道各地から多数の選手が参加し、女子100メートル走に、釧路地区身体障害者福祉協会標茶分会会員の小原美佳さんが出場し、1位を獲得いたしました。また、フットベースボール競技には、指定就労継続支援B型事業所しべちャコスモス通所者の皆さんが、健闘しましたが残念ながら3位という結果で終了いたしました。

標茶町共同募金委員会より「平成30年7月豪雨災害による義援金」の受付期間再延長について

日頃から、共同募金活動につきましては、格別なるご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げますと共に、各町内会や地域会、団体、個人の皆様から多額のご寄付を賜り誠にありがとうございます。

標記の義援金につきましては、下記のとおり受付期間の延長を行うことになりましたので、お知らせいたします。

(1) 受付期間

- 延長前 平成30年7月10日(火)から平成30年9月28日(金)まで
- 延長後 平成30年7月10日(火)から平成30年12月28日(金)まで

7月26日(木)に、標茶高等学校ボランティア部長が当センターに来所し、7月の豪雨災害見舞金として、ボランティア部として学校祭で小物雑貨等の販売と募金箱を設置し、販売した収益金と募金箱のお金を全額募金していただきました。



愛情銀行預託状況

(敬称を省略させていただきます)

(物品預託) 平成30年7月15日～平成30年8月14日

住所	氏名	預託内容
阿歴内	吉田英大	使用済切手 179枚 タオル他
	匿名	衣類等

皆さまの善意ありがとうございました。



※預託される衣類等について次の点にご協力ください。

- ① 衣類については、すぐに払い出しができるよう洗濯した物
- ② シミ、ほつれ、破れ、毛玉、汚れのひどいものは受け入れできません。
- ③ 保管場所に限りがあります、物品の引き取れない場合がありますので、預託の際は事前にお問い合わせください。

愛情銀行物品預託状況について、広報掲載不可の方からもたくさんの預託品を受けております。その中で、布団等の預託を多数在庫しております。愛情銀行では、預託を受けた物品を、イベント等にフリーマーケットとして出店しております。その他多数の預託品を保管し、皆様から預託された物品の払い出しも行ってまいりますので、覗いてみませんか！有効活用してみませんか？お探しのものが見つかるかも！？お待ちしております。

愛情銀行預託等のお問い合わせは、標茶町ボランティアセンター事務局(電話:485-2503)までご相談ください。

【発行】



社会福祉法人標茶町社会福祉協議会
標茶町川上10丁目1番地 標茶町総合社会福祉センター内
電話 485-2503 ファクス 485-1679

HP: www.shibecha-shakyo.jp